

歴史

嘉吉元年（1441）、嘉吉の乱勃発後、山名氏と赤松氏の間に深刻な対立が生じていました。竹田城はこの時、赤松氏に対する山名氏方の最前線基地のひとつとして築城されました。以後、太田垣氏7代にわたり城主となりますが、天正5年（1577）、羽柴（豊臣）秀吉の但馬攻めにより、羽柴秀長が城代となりました。これ以降、竹田城は織豊方の拠点城郭として機能しました。

天正8年（1580）、羽柴秀長は出石有子山城に入り、その後、竹田城は秀長の属将・桑山重晴に預けられました。さらに、天正13年（1585）、桑山重晴が紀伊和歌山城代に転じると、赤松広秀が城主となりました。

全国屈指の山城遺構 竹田城跡

遺構

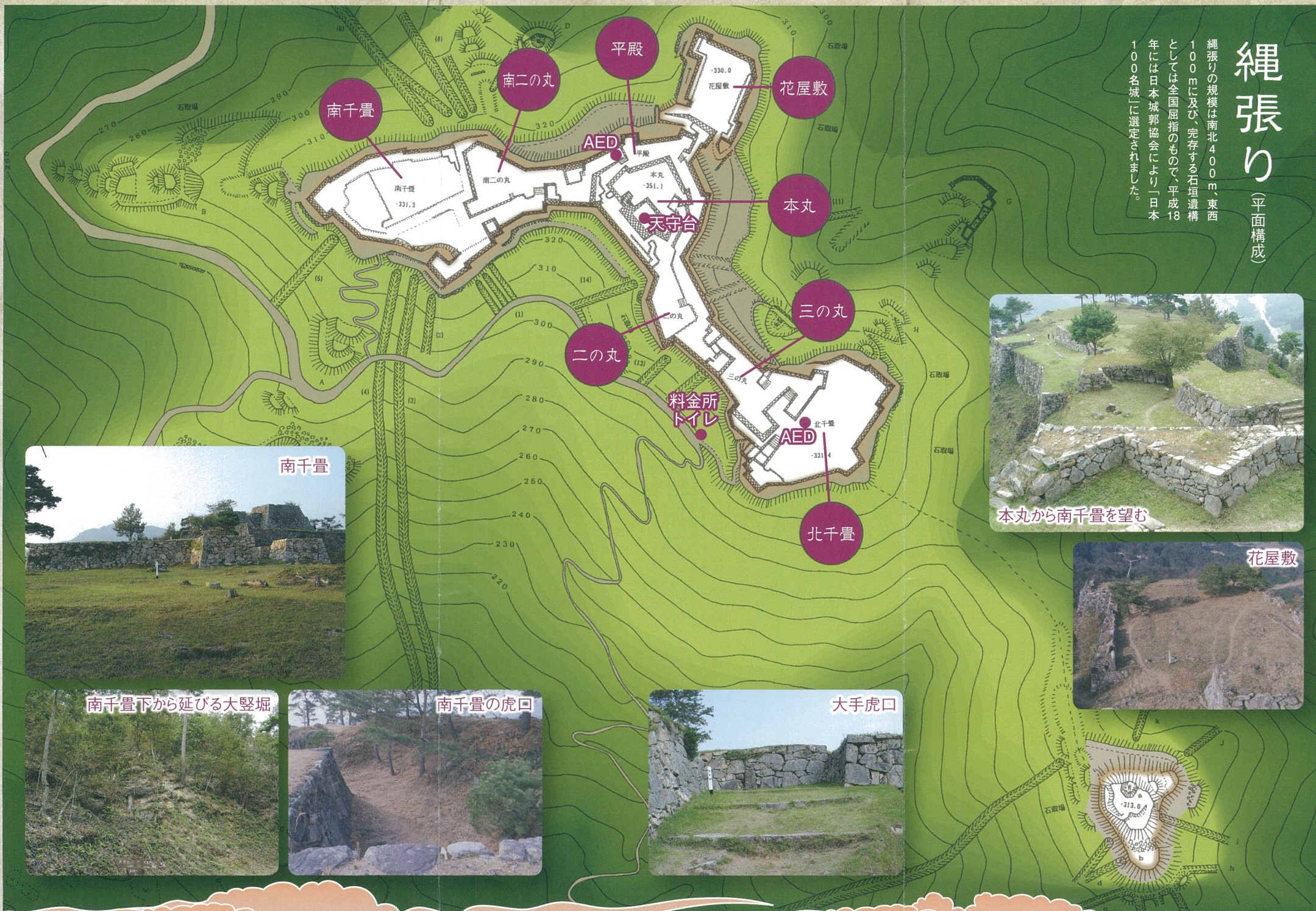
竹田城は、播磨・丹波・但馬の交通上の要地に築城されました。築城当初の姿は不明な点が多いが、石垣遺構周辺に存在する曲輪から判断しますと、現在の本丸・天守台の存在する山頂部から三方に延びる尾根上に曲輪を連続的に配置し、堀切や堅堀で防御性を高めていたものと思われます。

一方、織豊期以降の竹田城は、最高所の天守台（標高353.7m）をほぼ中心に置く石垣城郭となり、本丸以下南方には、南一の丸、南千畳が、北方には、二の丸、三の丸、北千畳を築いています。さらに、天守台の北西部には、花屋敷と称する曲輪があります。ここは、主郭の中でも堀め手の位置にあたるため、南北には、向かい合った石塁を築き、防御性を高めています。これらの石垣遺構周辺には、多くの石取場が確認されています。大堅堀や登り石垣なども確認され、倭城の築城形態に倣った作りとなっています。なお、竹田城の規模は、南北約400m、東西約100mを測り、今もなお当時の威容を誇っています。



縄張り（平面構成）

縄張りの規模は南北400m、東西100mに及び、完存する石垣遺構としては全国屈指のもので、平成18年には日本城郭協会により「日本100名城」に選定されました。



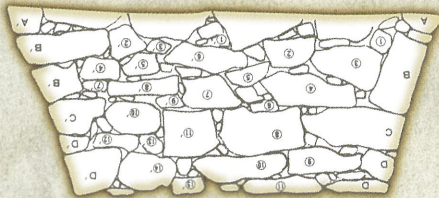
高麗瓦の歴史は、古くは縄文時代から始まり、古墳時代には土師器の瓦、奈良時代には土師器の瓦、平安時代には土師器の瓦、室町時代には土師器の瓦、江戸時代には土師器の瓦、明治時代には土師器の瓦、大正時代には土師器の瓦、昭和時代には土師器の瓦、平成時代には土師器の瓦、令和時代には土師器の瓦。



高麗瓦の歴史は、古くは縄文時代から始まり、古墳時代には土師器の瓦、奈良時代には土師器の瓦、平安時代には土師器の瓦、室町時代には土師器の瓦、江戸時代には土師器の瓦、明治時代には土師器の瓦、大正時代には土師器の瓦、昭和時代には土師器の瓦、平成時代には土師器の瓦、令和時代には土師器の瓦。

算木積み

算木積みとは、石を積み重ねる方法で、石の形状や大きさを気にせず、隙間を土や砂で埋め合わせる。この方法で築かれた石垣は、丈夫で長持ちする。また、石の隙間に土や砂を詰め込むことで、石垣の強度が増す。この方法で築かれた石垣は、丈夫で長持ちする。



竹田城跡の石積の構造

情報館「天空の城」
TEL.079-674-2120

お問い合わせ

バス・タクシー乗降場

トイレ・自動販売機等

料金所

トイレ

表米神社

表米神社登山道

駅裏登山道

居館跡

法樹寺

勝賢寺

常光寺

善證寺

竹田城下町観光駐車場

竹田まちなか観光駐車場

竹田駅

たけだ城下町交流館

至山城の郷

至姫路

至豊岡・京都

バス・タクシー乗降場

トイレ・自動販売機等

料金所

トイレ

表米神社

表米神社登山道

駅裏登山道

居館跡

法樹寺

勝賢寺

常光寺

善證寺

竹田城下町観光駐車場

竹田まちなか観光駐車場

竹田駅

たけだ城下町交流館

至山城の郷

至姫路

至豊岡・京都

バス・タクシー乗降場

トイレ・自動販売機等

料金所

トイレ

表米神社

表米神社登山道

駅裏登山道

居館跡

法樹寺

勝賢寺

常光寺

善證寺

竹田城下町観光駐車場

竹田まちなか観光駐車場

竹田駅

たけだ城下町交流館

至山城の郷

至姫路

至豊岡・京都

竹田城跡

個人 おひとり様1回	500円
中学生以下	無料
団体(20人以上) おひとり様1回	450円
大人(高校生以上)	1,000円

観覧料

- ①3月1日～5月31日：午前8時～午後6時(最終登城：午後5時半)
- ②6月1日～8月31日：午前6時～午後6時(最終登城：午後5時半)
- ③9月1日～11月30日：午前4時～午後5時(最終登城：午後4時半)
- ④12月1日～翌年1月3日：午前10時～午後2時(最終登城：午後1時)

竹田城関係年表

年号	西暦	記	事
永享3	1431	山名持豊、竹田城構築に着手する(口碑)	
嘉吉3	1443	竹田城完成する	山名持豊、初代城主として太田垣光景を配するという(口碑) ※太田垣誠朝が初代城主とする説もある
寛正6	1465	太田垣景近、第2代竹田城主となる	
文明11	1479	太田垣宗朝、第3代竹田城主となる	
延徳4	1492	太田垣俊朝、第4代竹田城主となる	
大永1	1521	太田垣宗寿、第5代竹田城主となる	
天文7	1538	太田垣朝延、第6代竹田城主となる	
永禄12	1569	木下藤吉郎秀吉、但馬侵攻する	生野銀山から此隅山城まで10日間で18城を陥落させる(「益田家什書」)
〃	1570	太田垣輝延、第7代竹田城主となる	
天正5	1577	羽柴秀吉、播磨を平定したのち、小一郎秀長をもって但馬を侵攻する	
〃	1578	秀吉、再び小一郎秀長を竹田城に入れる(「信長公記」)	小一郎秀長、秀吉の三木城攻めに加わる
〃	1580	秀吉、但馬を攻撃する(この時点で、太田垣の竹田城は終わる)	桑山修理大夫重晴、竹田城主となる。所領10,000石(「藩翰譜」)
〃	1585	重晴、和歌山城代として移封される。赤松広秀、竹田城主となる	所領22,000石
慶長5	1600	関ヶ原の役、広秀、西軍に属し丹後田辺城を攻める	西軍敗戦後、鳥取城攻めに加わるが、大火の責任を問われ鳥取・真教寺で自刃する。竹田城、廃城となる
元和1	1615	生野代官所支配下となる	
明治1	1868	久美浜・生野(明治2)・豊岡県(明治4)に属する	
〃	1876	兵庫県に編入される	
昭和14	1939	竹田町役場の所有となる	
〃	1943	国史跡に指定される	
〃	1956	竹田・和田山・南但各町の合併により	大字竹田(竹田財産区)の所有となる
〃	1971	石垣復元工事に着手する	
〃	1977	「竹田城保存管理計画書」を策定する	
〃	1980	石垣復元工事を完了する	
平成1	1989	映画「天と地と」撮影ロケの現場になる	
〃	2006	日本100名城に選定される	
〃	2011	映画「あなたへ」撮影ロケの現場になる	